

みなさんに 知っておいてほしい病気

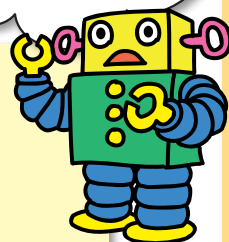
～「1型糖尿病」編～

監修 千葉大学医学部附属病院 小児科 高谷 具純 医師



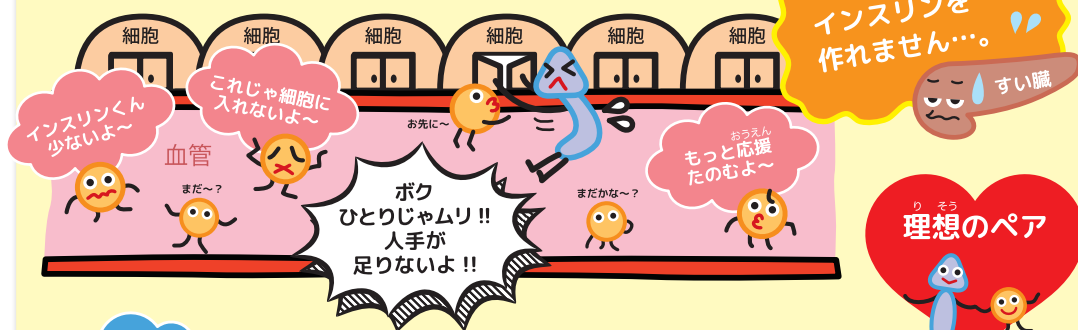
私たちが生きている
この世界には、たくさん
の病気があり、そしてた
くさんの治療法があり
ます。すぐに思い浮かぶ
のは「薬を飲む・ぬる」
「手術する」でしょうか。
今回とりあげる「1型
糖尿病」は大人だけでは
なく、子どもにもみられ
る病気です。この病気に
なると、手術をしたり薬
を飲んだりするのでは
なく、あるものを注射や
ポンプによって補充し
続けることが治療にな
ります。
ぜひみなさんに知っ
ていただき、理解を深め
てほしいと思います。

「かたよった
生活習慣」が
主な原因の
2型糖尿病とは
違うんだね!



1型糖尿病ってどんな病気?

1型糖尿病は、すい臓のある場所がこわれてインスリンが出せなくなる病気
です。インスリンが出なくなるとブドウ糖(エネルギーのもと)を細胞などにとり
込めず、血液中を流れるブドウ糖が増えてしまいます。



細胞のドア、
ボクが
開けます♪



インスリンくん

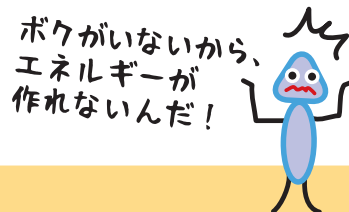
すい臓から出るホルモンで、
血液中のブドウ糖を一定の量に
おさめる働きをします。(細胞の
ドアを開ける役割があるよ!)

ブドウ糖ちゃん

ブドウ糖は体のエネルギー源です
が、インスリンくんの力を借りて共同
作業をすることで、初めて「エネルギー
源」になることができます。

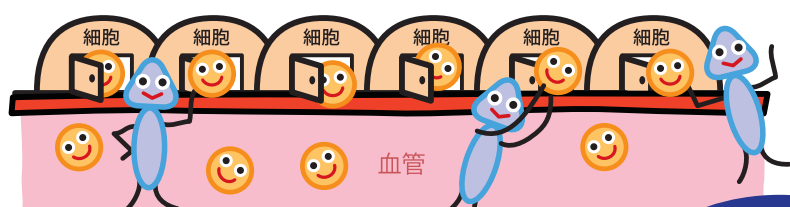


昨日までは何でもなかったのに、突然異変が…。
原因は「ウイルス」なのか、自分の細胞を自分で傷
つけてしまう「自己免疫の異常」なのか…。まだ、
わかっていません。

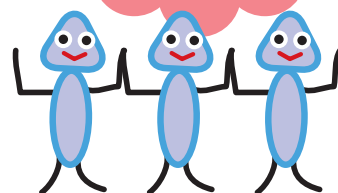


ボクがいらないから、
エネルギーが
作れないんだ!

でも、大丈夫!! インスリンを補給すると、
血糖が細胞の中にとりこまれ
エネルギーとして働きます。



ボクを
補給すれば
いいのさ♡

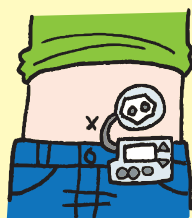


どうやって補給するの？



例1：注射で補給

1日のうちに数回、
注射やポンプという器
具を使ってインスリン
を体に補給します。



例2：ポンプで補給

インスリンを
体に補給すれば
みんなと同じように
過ごすことが
できます。



給食、運動
課外授業...



しかし注意が
必要なことがあります。

それは「**低血糖**」といって、
血糖とインスリンのバランスを
崩したときにあらわれる
危険な状態です。

低血糖はこんなことで
起こります



いつもより激しい運動をしたとき
いつもより食事の時間が遅くなったとき
食事をぬいてしまったとき
食べたものを吐いてしまったとき
など

体はエネルギー源不足になり、こんな症状になります。



体がだるい



ふるえる



目がかすむ



意識がなくなる

難しい言葉で
「低血糖昏睡」
というよ!

1 型糖尿病のお友だちが 「低血糖」になったらどうすればいいの？

とう ぶん

糖分を補給すれば大丈夫！

ガマンだけはいけません。すぐに糖分補給をしてください。

糖尿病のお友だちは、常に持っていますので
すぐに補給のお手伝いをしてください。



ブドウ糖

缶
ジュース
(ノンカロリー
ではないもの)

砂糖

キャン
ディー

ビス
ケット

ハチミツ

など



1型糖尿病を知ってもらえたかな？

体育の前後や、授業中、テスト中なども補食といって
糖分補給をしなくてはいけないことがあるピッ。
それはおやつを食べているのではないんだピッ。
「治療」なのだということを理解してほしいピッ。



この補給方法についてみなさんで考えてみてください。

1日に数回も注射をすることは、簡単なことではありません。

「痛いだろうな…」「大変だろうな…」

「自分だったら、できるかな…」という声が聞こえてきました。

そこで、みなさんにお願ひです。

頑張っているお友だちにより添ってあげてください。

みなさんの応援がきっと力になるはずです。



大人の方へ

いちばん怖い「低血糖」～補食について～

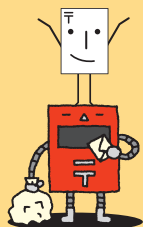
【体調が悪い時の補食（緊急に糖分を補給する）】

低血糖の症状が出たら、すぐにブドウ糖や糖分を多く含んだジュースやお菓子、ハチミツなどを食べ（させ）ます。万一、呼びかけても返事をしない、けいれんを起こすなどの症状が出たら、救急車を呼んでください。

たよ ぼ しゅう お便り募集

このコーナーで取り上げてほしいこと、病気や身体のこと
で聞いてみたいことがあったらお手紙をください。封書
かハガキでお寄せください。詳細は、医師会インフォーメー
ションをご覧ください。

※個人情報保護のためお送りいただいたハガキなどは、（公社）千葉県
医師会が保管をし、連絡の目的以外に使用することはありません。



保護者のみなさまへ

学校に1型糖尿病のお友だちがいる場合は、学校でのインスリン注射や食についての理解を、今一度ご家庭でも話していただけたら幸いです。

かたよった生活習慣が誘因となる「2型糖尿病」は、かつては中高年に多い成人病でした。ところが近年、発症が低年齢化してきています。中学生で発症するケースもあります。子どもたちの生活習慣（食事・運動）にぜひ気にかけていただきたいと思います。

